

事長)に送付した。

同要望書では、「以前より貴組合に対して『平判と巻取の価格差の拡大』『直需と印刷会社間に生まれる一物多価の考えに基づいた価格修正』など、製紙メーカー各社に訴え、改善を図るように求めてきたが、それらの改善が全く図られていない状況にあつての今回の値上げ発表は、私どもの声を無視した行為であると思う」と抗議。

また、「貴組合からも『健全で透明性かつ公平性のある価格体系』を実現し、ユーザーから信頼され理解されるために、製紙メーカー、代理店各社に過去四回にわたり要望事項を提出しているが、これも全く実現していない。このことは、製紙メーカーが流通を軽視していることに他ならず、断固抗議すべき事柄ではないかと強く訴えた。

さらに「紙の印刷物を通じて生活・文化に貢献する使命は、製紙業界、紙流通業界、印刷業界の三者に課せられた義務であり、この使命を達成するためには、それぞれの業界が相手を尊重し、意思の疎通と理解を図ることが必要である」と伝えた上で、三業界の相互

理解による透明性かつ公平性のある対応を求めた。

また、今後の印刷業界及び紙流通業界の危機的状况についても触れ、「紙の需要が減少する中で、毎年のように実施される印刷用紙の値上げは、紙媒体離れを一層加速する行為であり、目先の利益は確保できるものの、中長期的には負のスパイラルに陥り、印刷業界はもとより紙流通業界の存続をも危くする」と警鐘を鳴らした。

間伐材使ったステーションナリー発売

ハートツリー

ハートツリー(服部進社長)は、間伐材を活用したステーションナリーシリーズ「MOTHER FOREST」写真Ⅱを今月発売する。

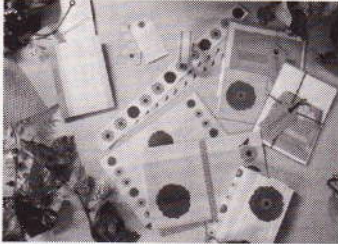
木目や香りが残ったまま紙と同様に加工できる最新の技術を使い、自然をイメージしたデザインに仕上げた。間伐材活用の活動を通して、日本の森林再生に貢献することを目指す。

商品の特徴は、木と紙を張り合わせることで、木目と香りを残したまま紙と同様に加工できる技術を応用

イルを彩るファンシー雑貨が揃う。

「ステーションナリー&ペーパーグッズフェア」では、筆記具、紙製品、ラッピング用品、スタンブ、カードなどパーソナル向けを中心としたステーションナリー、「STYLISH文具フェア」では、雑貨テイストの文具素材、デザイン性の高いステーションナリーが展示される。

「第一八回グルメ&タイニングスタイルショー」秋2015も同時開催される。



している。さらに、マスキングテープとして発売する手で切れるシールなど、同シリーズのために開発された新しい技術もある。

新商品のラインナップは、①ノート、②ブックカバー、③ブックエンド、④熨斗袋、⑤マスキングテープ、⑥キフトタグ、⑦レターセット。



夫上製紙の森は、
ただいま、約70,000ha!
東京23区とほぼ同じ面積!!

大切な人へ

